

船橋障害者自立生活センターニュース

発行所 : 〒273 船橋市湊町1-6-12

☎0474-32-4554

発行人 : 宮尾 修

1993年11月15日 第4号

編集人 : 渡辺由美子

待望の事務所で活動始まる

11月27日に開設のつどいと講演会

昨年の結成以来、私たちの念願だった事務所の開設がついに実現、船橋障害者自立生活センターの活動の拠点として、本格的に始動することになりました。

場所は、市役所からすぐで、町も同じ湊町1-16-2。かなり年季の入った長屋の隅ですが、市街地にも近く、JR船橋駅からも電動で17分の便利なところ。4月から捜し始めて3ヵ月、市内の不動産屋を20軒以上も回ってみつけたもので、7月末に契約しました。

すでにワープロやコンピュータの機器類も設置、介助派遣や自立生活講座等の活動に使われていますが、出入口の幅がせまく、トイレも車いすは入れません。このため改装工事をする事になり、10月中旬から工事に着手、間もなく完成の見込みです。また、工事費用とするため、今年から船橋市が始めた「福祉基金」の交付を申請、このほど百万円が認められました。センターでは11月27日(土)午後、船橋中央公民館で「事務所開設のつどい」を開く予定で、目下、準備に大いそがしの最中です。会場は6階講堂、最初に「変化の時代と障害者の自立」と題して、三ッ木任一先生(放送大学教授)の講演があり、そのあと大橋和夫市長らを交えて、開設記念の懇親パーティが行われます。

事務所が整えば、いよいよあとは本格始動です。杉井さん、山本さんなど、自立生活の実現をめざして、何年も前から情熱を燃やし、懸命に活動してきた人たちを中心に、仲間みんなでその真価を発揮する番です。会員拡大、財政改善など、解決しなくてはならぬ課題も多く、行政その他、大勢の方々のご理解ご支援も仰がなければなりません。27日はその意味でも、ぜひ、たくさんの皆さんにお出で頂きたいと思います。

なお、当日の詳細については、事務所まで電話でお尋ねください。

介助講習会開催！！

去る8月22日、介助派遣システムについての説明会と介助講習会を船橋市勤労市民センターで開催しました。

当日は、初めに宮尾代表の挨拶があり、その後、介助派遣システムのあらましや手続きの方法などについての説明が行われました。参加者はそれほど多くはありませんでしたが、熱心な質問が相次ぎ、試行錯誤を重ねながらも出来るだけよいシステムにしていきたいものだと感じました。

そして、後半は「介助講習会」に移りました。初めに、この日ボランティアでコーチ役を引き受けてくださった千葉大学看護学部大学院生の木村律栄さんの指導で、センターのメンバーである障害者が自らモデルとなって、車イスの押し方や車イスから他の場所への移動の方法など、介助の基本的な面について実技を交えて学びました。その後、交流と実習を兼ねてオープンしたばかりのセンターの事務所まで行きました。車いすに触るのは初めて、という方もいらっしゃり、しかも室内とは異なる環境で段差などがいたるところにあったりと、なかなか大変でしたが、介助の基本は人間関係の構築から、ということを感じさせられた一日でした。

なお、当センターではこれからも折にふれて介助講習会を開催致しますので、是非、お誘い合わせのうえ多くの方のご参加をお待ちしています。

事務所開設にあたって思うこと

渡辺由美子

私が新聞記事を読んで「船橋障害者自立生活センター」と関わるようになって数年が経過しました。その間に自分一人では経験出来ない様々な出来事がありました。何となく言葉では知っていましたが、これまで障害者運動というもののイメージがわきませんでした。ましてや自分がその末端に携わるようになるとは思いませんでした。

特に「誰でも使える交通機関を求める全国大行動」は全国的に行われる行動で、しかも一番みじかな交通アクセスの問題なので行動目的がはっきり私にも理解出来これからも地道に働きかけを続け取り組む中で改善を求めていきたいと考えています。そして外出が自由になる事を基本として今後も様々な福祉活動に邁進したいと思っています。

「船橋障害者自立生活センター」もその一つの活動として長い目で見ながら何らかの意味で発展に貢献出来たらと考えています。そんな中で自分は今一番何をすべきか何を求めているのか模索を続けより良い生活を送る為にこれからも狭い視野に捕らわれず行動する事第一でチャレンジしていこうと思います。その中でおのずと進むべき自分にとってベストな道が作り出されていくと信じて今後も自分の出来る範囲で頑張っていこうと思いますので皆さんより一層のご支援ご協力を頂きますよう公私共々よろしくお願ひ致します。

会費納入とカンパのお願い

すでにお知らせしましたように、私たちの活動の拠点となる事務所をようやく確保することができました。

ただ、改装工事はもちろんのこと、事務所を持ち、活動を継続していくためには相当の財源が必要となります。もちろん、なによりも事業収入の拡大にも力を入れませんが、行政などによる助成制度があまり期待できない現状では、会員の皆様からの会費が否応無しに大きなウェイトを占めることとなります。

というわけで、会員の皆様にはお願いばかりで恐縮ですが、未納の方は今年度分の会費をお早めにご納入くださいますようお願いいたします。

なお、カンパも随時お受けしておりますので、幅広い皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

郵便振替口座「東京 4 - 6 0 9 0 8 8」

船橋障害者自立生活センター

いままでにカンパをしてくださった方々

田島 由美子
三堀 八重子
太田 修平
前田 満子

野上 温子
中沢 由紀子
高橋 修
山田 みゆき

小林 よし子
小出 敬子
三沢 了

羊の声
関 光雄
二日市 安

(敬称略)